

折り返し式 らくらくタイル (ダブル)

2025.8 算数工房

まずは、らくらくタイルを振り返ってみると・・・

くらべールを縦にすると・・・



らくらくタイル (5のカンヅメ重ねタイプ) ※5のカンヅメの工作が大変



新らくらくタイル (5のカンヅメを無くす)

※この間、5のカンヅメを無くす代わりにタイルの色をどうするか思案



新らくらくタイル (ラミネート→クリアーポケットでより簡単に作れる)



新らくらくタイル (3の印を※にしたシングルバージョン) ←最終的に



新らくらくタイルシングルバージョン (両側から折り返し、窓開け作業を無くす)

※以前試してみた紙レール式の変形?



折り返し式ダブルバージョン (B 6クリアーポケット版)

今のところ、B 6クリアーポケットを使って、窓開け不要の折り返し式でずいぶん省力化で作ることができるようになったかな?

折り返し式とは (窓あけ不要)

らくらくタイルやテープ図3兄弟などのスライド系の教具には窓開けが必要だ。たくさん作るとなると、時間がかかる作業になる。大きな数の電車の窓開けをカッターナイフからポンチに変えることが出来たように、これらの教具の窓開けも工夫できないかなと考えていた。

クリアーポケットを使うのだから、両側から折り返す (窓ではなく「隙間」になるが) だけでうまくいくのではないだろうかと考えた。らくらくタイルの型紙を修正していたところだったので、「折り返し式」を作ってみた。写真が試作品。両側から折り返しているだけだから、カッターナイフで窓を開けるよりはずいぶん簡単になる。ラミネート不要、窓開け不要でずいぶん省力化になる。

(※スライド板はラミネートの必要があるが・・・)



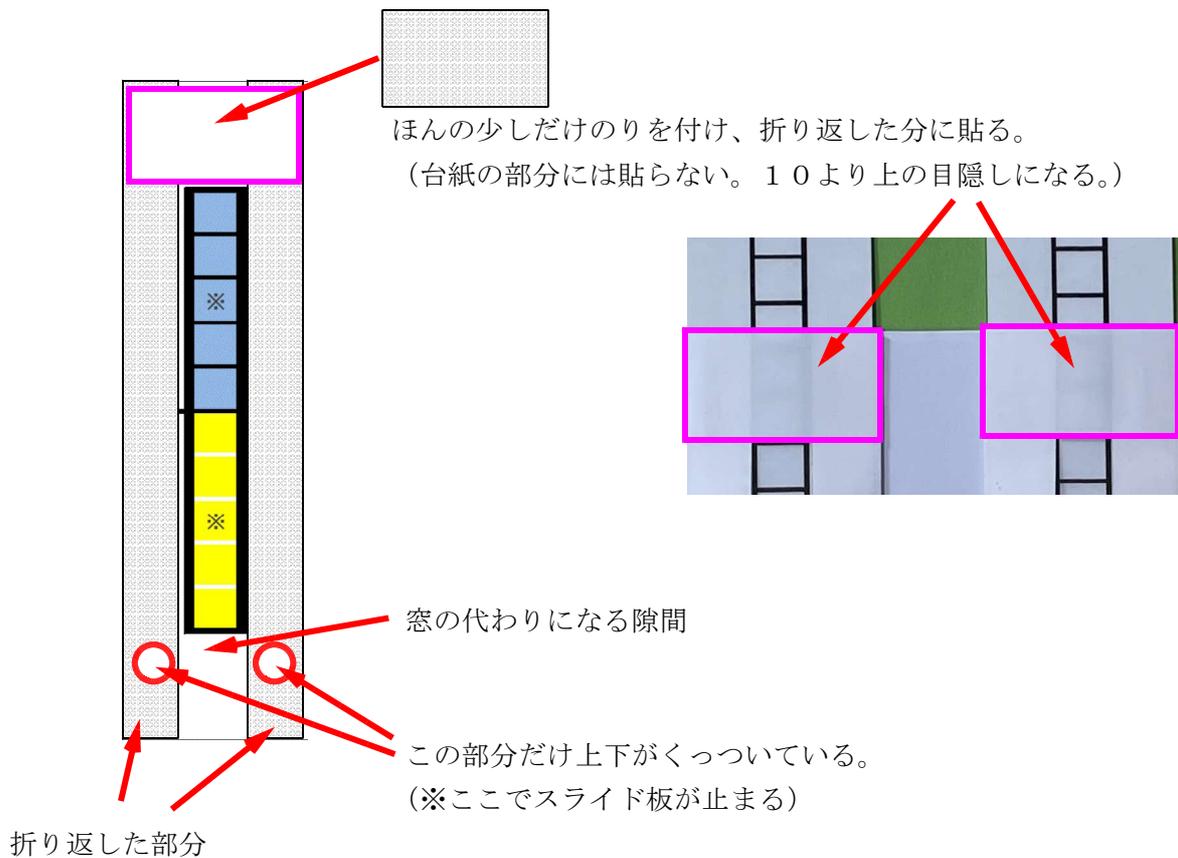
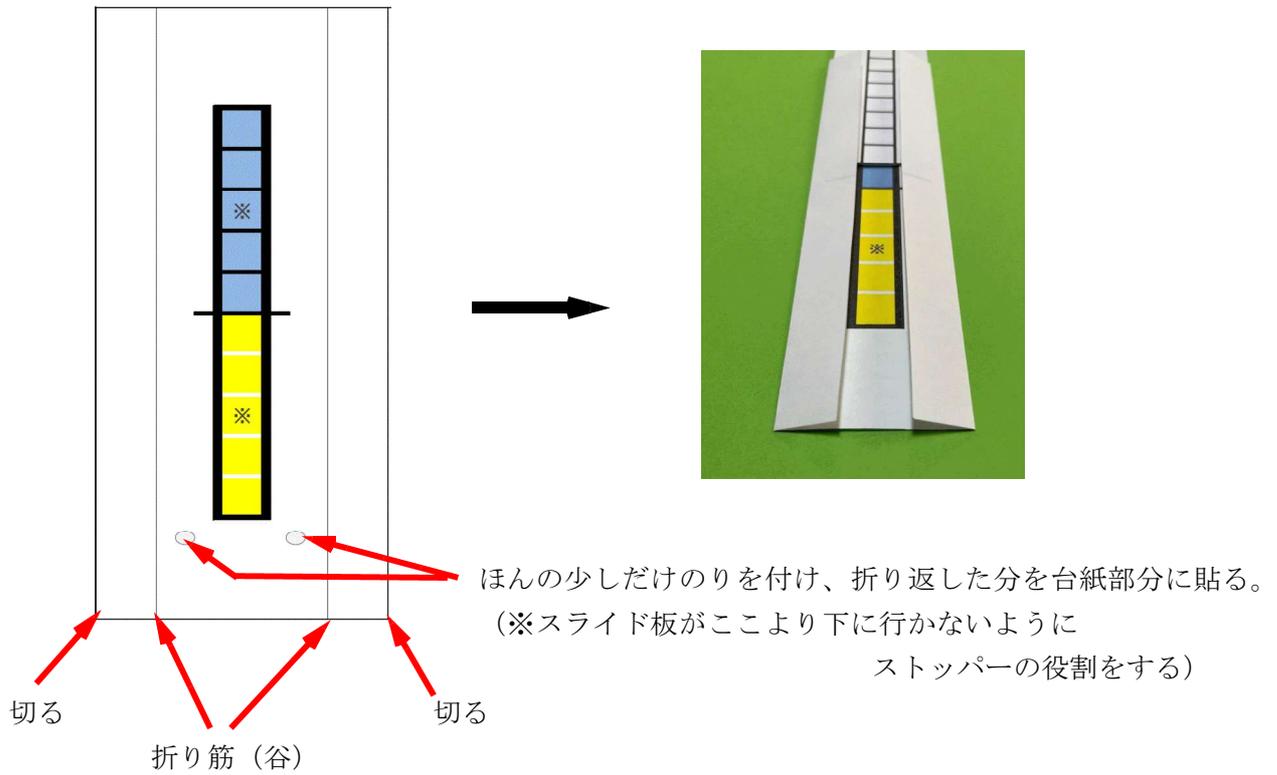
折り返し

準備物

- ・ B 6判クリアーポケットを使う (135×191mm)
- ・ スライド板は型紙をラミネートしておく。
- ・ 千枚通し (折り線をつけるため)

「らくらくタイル」の作り方

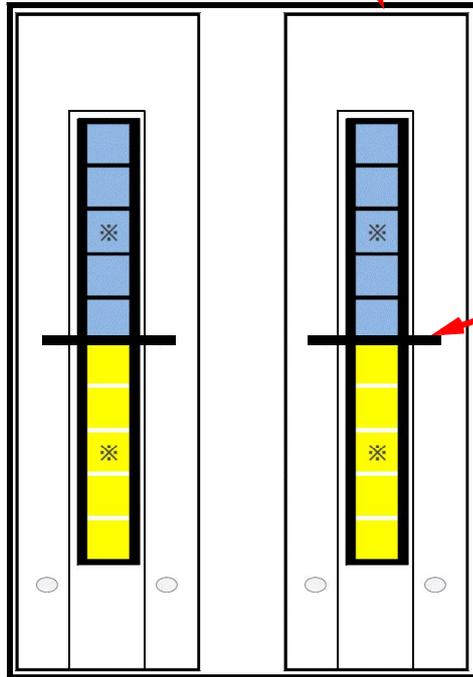
*型紙を印刷し、下のように切り離し、また折り筋をつける。



これを2個作る！

* 2個のらくらくタイルを貼るための台紙 (130×186 mm) を厚紙や画用紙などで作る。

* 台紙にらくらくタイルを貼る。

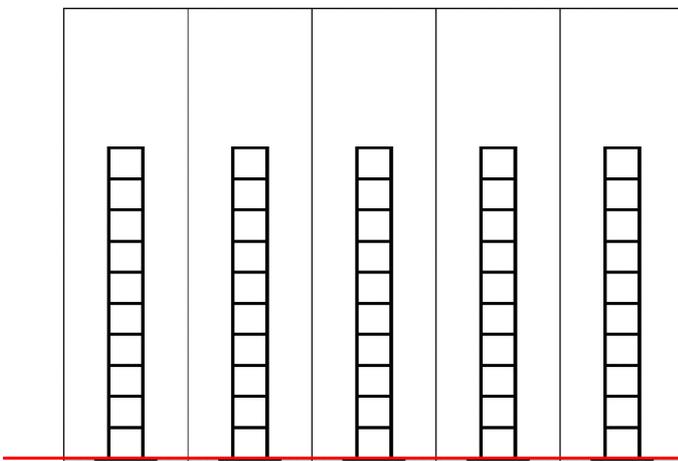


クリアーポケットの上から
「5」のラインを黒マジックで書く

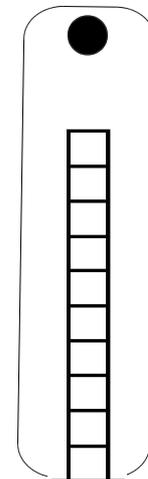
※ 2個のらくらくタイルを台紙に固定する。(ほんの少しの糊でよい)

* スライド板

スライド板の型紙をラミネートする。



このライン
で切る



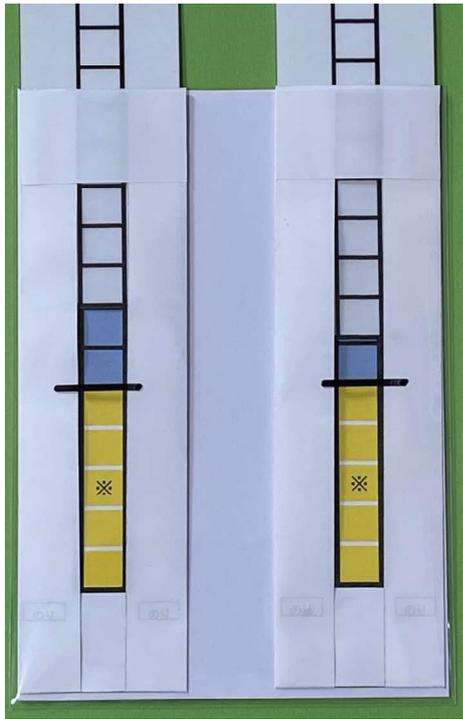
※ 「かどまる」などで角を取る。

※ スライド板の●部分に、取っ手を付けた方がいいでしょうね。

※ 白表紙などで、ひと回り大きな台紙に貼り付けた方が使いやすいかな。

初代らくらくタイルの詳細については、教具作り⑤の一番下「らくらくタイル」をご覧ください。

完成！



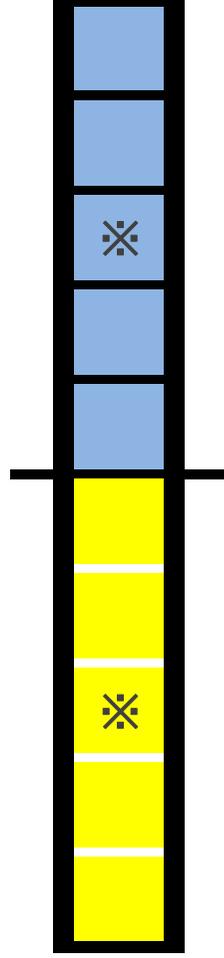
※ B 6 判クリアーポケットを使う (135 × 191 mm)



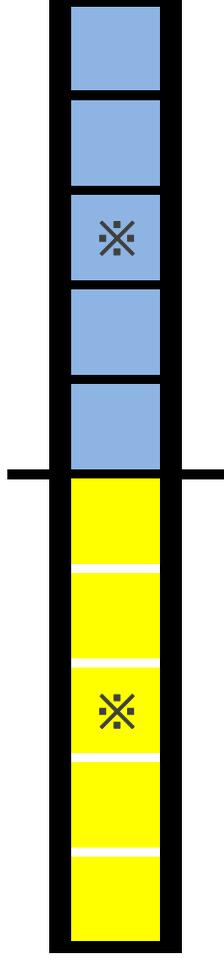
ダイソーだったかな？ セリアかな？

〈終わり〉

Σ γ δ ∨ ζ η ∨ θ



Σ γ δ ∨ ζ η ∨ θ



Σ γ δ ∨ ζ η ∨ θ

